

平成30年度（2018）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校穴吹ビジネスカレッジ

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹ビジネスカレッジ 学校関係者評価委員会は、平成29年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので、ご報告致します。

平成30年12月17日

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹ビジネスカレッジ
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて専門学校穴吹ビジネスカレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹ビジネスカレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

小川 幸彦	元高等学校校長
村川 晶子	株式会社J R 四国ホテルズ
市原 克美	ハウス美装工業株式会社
青柳 啓太	本校卒業生
杉山 有美	本校在校生保護者

(学校教職員)

篠原 達司	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	校長
戸倉 潤也	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	副校長代理
三木 俊司	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	教務部長
上井 宗大	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	教務課長代理

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 平成30年12月10日(月) 15:30~17:00

平成30年12月17日(月) 13:30~15:30

開催場所 学校法人穴吹学園 専門学校穴吹ビジネスカレッジ テクノホール

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「平成29年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」、と「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。書式は、香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

5. 意見交換、質疑応答

○自己評価報告書の評価について

・どのような方法で評価をしているのか?

→教務部、事務局に聞き取りをして副校長が評価をしている。

○交通安全教育について

・具体的にどのような取り組みをしているのか。

→香川県警に依頼し、交通マナーなど個別指導をしてもらっている。

○学生満足度調査について

・学生が何を考えて、どのような職業に興味があるかなどのアンケートを実施し、学校運営の参考にすることで、今後の学生募集や、授業運営の参考になるのではないか。

→学生については入学者アンケート、保護者については保護者アンケートを実施している。

○学生と企業(卒業生)との交流について

・インターンシップではなく、学内で学生と企業(卒業生)が座談会等で交流し、接点を設けることは可能か?

→企業を招いて合同就職セミナーは校内で実施しているが、クラス単位で企業(卒業生)を招いて、座談会をすることは実施していない。誤った就職先の選択にならないように、今後実施できるように検討する。

○SNSの関わり方について

・学生のSNSの関わり方と、就職してからのSNSの関わり方を学内で周知しているか?

→入学時に学生に対しては周知しているが、就職してからのSNSの関わり方は教員のスキルによって教え方が異なるので、実施する場合は企業の協力が必要である。

○ 教育活動について

- ・ホテル学科で授業をしているサービス介助士の知識や技術はホテルの現場では必要不可欠なので、泥酔のお客様や車椅子を使用しているお客様の介助方法を学生が就職後に社員同士で共有していきたいと感じる。AEDの使用方法も使える程度にはしてほしい。
- ・海外のお客様の対応は英会話が当たり前なので、とっさに使えるビジネス英会話は学生のときに身に付けておいてほしい。
- ・香川県の観光について学生は興味を持ってほしい。初めて香川を訪れた観光客からの観光の質問についても的確なアドバイスができる知識は身に付けてほしい。
- ・異文化理解(宗教・食べ物など)を身に付けてほしい。最近では学会等で香川県を訪れる海外のお客様が多いので、多方面にわたる異文化理解が必要である。

○ 法令等の遵守

- ・LGBT・コンプライアンスに対する知識を身に付けてほしい。

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

以上